

ひたちなか市 洪水ハザードマップ 東部版



ハザードマップについて

この洪水ハザードマップは、国土交通省が平成28年5月に公表した浸水想定区域図をもとに作成したものです。浸水想定区域は、発表時点の那珂川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により那珂川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したもので、水防法の規定により想定最大規模降雨により那珂川が氾濫した場合の規模を予測し、浸水の区域や深さをあらわしています。

この浸水想定区域では、支川の決壊によるはん濫や、高潮、内水によるはん濫などは考慮されていないため、この地図において浸水しない表示となっている地域においても浸水が発生する場合や、地図記載の水深が実際の水深と異なる場合があります。

・このマップで想定する雨量
 想定最大規模降雨 那珂川流域 4 8時間 総雨量4 5 9 mm

水害時の避難所一覧

番号	避難所名	住所	電話番号
2	三反田小学校	三反田3065	272-3443
9	金上ふれあいセンター	金上562-1	354-4170
10	那珂湊第一小学校	山ノ上町1-1	262-2450
11	那珂湊第二小学校	富士ノ上10-1	262-2744
12	那珂湊高等学校	山ノ上町4-6	262-2642
13	那珂湊コミュニティセンター柳沢館	柳沢472	263-2498
14	湊公園ふれあい館	湊中央1-1-1	262-3167
15	那珂湊総合福祉センター(しあわせプラザ)	南神敷台17-6	262-5775

※土砂災害時には使用不可 番号は西部版と共通になります。

作ってみよう! マイ・マップ

●自分の家から避難所までの道のりを書き入れて「マイ・マップ」を作ろう!

●地図の国・県道や主要な道路を参考にどの道を通って避難するか家族と相談してみよう!

●下面の「マイ・タイムライン」とあわせて自分たちのハザードマップを完成させよう。

私たちの避難所

作ってみよう! マイ・タイムライン

作成したマイ・タイムラインを活用し、「自分の逃げ方」を手に入れましょう! マイ・タイムラインについては裏面で解説しています。

行政からの情報 (発表順)	行動の例 (情報が発表されたら)	自分たちの「マイ・タイムライン」
1 台風情報の発表	<input type="checkbox"/> 台風予報を注意して見る。 <input type="checkbox"/> 家族全員の予定を確認する。 <input type="checkbox"/> 非常持出品や備蓄品の確認をする。 「非常持出しリスト」を見てみよう。	
2 大雨注意報・洪水注意報が発令される	<input type="checkbox"/> テレビやインターネットなどで雨や川の様子に注意する。 「注意報・警報・特別警報」を見てみよう。	「情報はどこから収集するの?」を見てみよう。
3 那珂川が水防団待機水位に到達する 那珂川: 水防団水位 3.00m	<input type="checkbox"/> 住んでいる所と上の雨量を調べる。 <input type="checkbox"/> 川の水位を確認する。 ※携帯を充電しておく。	「洪水予報の危険度レベル」を見てみよう。
4 はん濫注意水位に到達する 那珂川: 水防団水位 4.00m	<input type="checkbox"/> 川の水位を確認する。 <input type="checkbox"/> 「避難しやすい服装に着替える。 <input type="checkbox"/> ハザードマップで避難所・避難経路を確認する。 ※「洪水予報の危険度レベル」を見てみよう。	「はん濫注意情報 発表 (国交省・気象庁)」
5 那珂川が避難判断水位に到達する 那珂川: 水防団水位 5.40m	<input type="checkbox"/> 川の水位を確認する。 <input type="checkbox"/> あらかじめ決めていた場所への避難を開始する。 ※特に高齢者や障害のある方などは避難に時間がかかる方は早めに避難を開始。 「水の高さによって避難の呼びかけをします!」避難するときの注意点を覚えてみよう。	「はん濫警戒情報 発表 (国交省・気象庁)」 高齢者等避難 発令 (ひたちなか市)
6 那珂川がはん濫危険水位に到達する 那珂川: 水防団水位 5.80m	<input type="checkbox"/> 安全な場所でテレビ・ラジオなどで洪水情報の確認をする。 <input type="checkbox"/> 逃げ遅れたら建物の高いところにいる。	「はん濫危険情報 発表 (国交省・気象庁)」 緊急安全確保 発令 (ひたちなか市)
7 はん濫が発生	<input type="checkbox"/> 安全な場所でテレビ・ラジオなどで洪水情報の確認をする。 <input type="checkbox"/> 逃げ遅れたら建物の高いところにいる。	「はん濫発生情報 発表 (国交省・気象庁)」 緊急安全確保 発令 (ひたちなか市)

※水位基準については令和2年4月時点のものです。

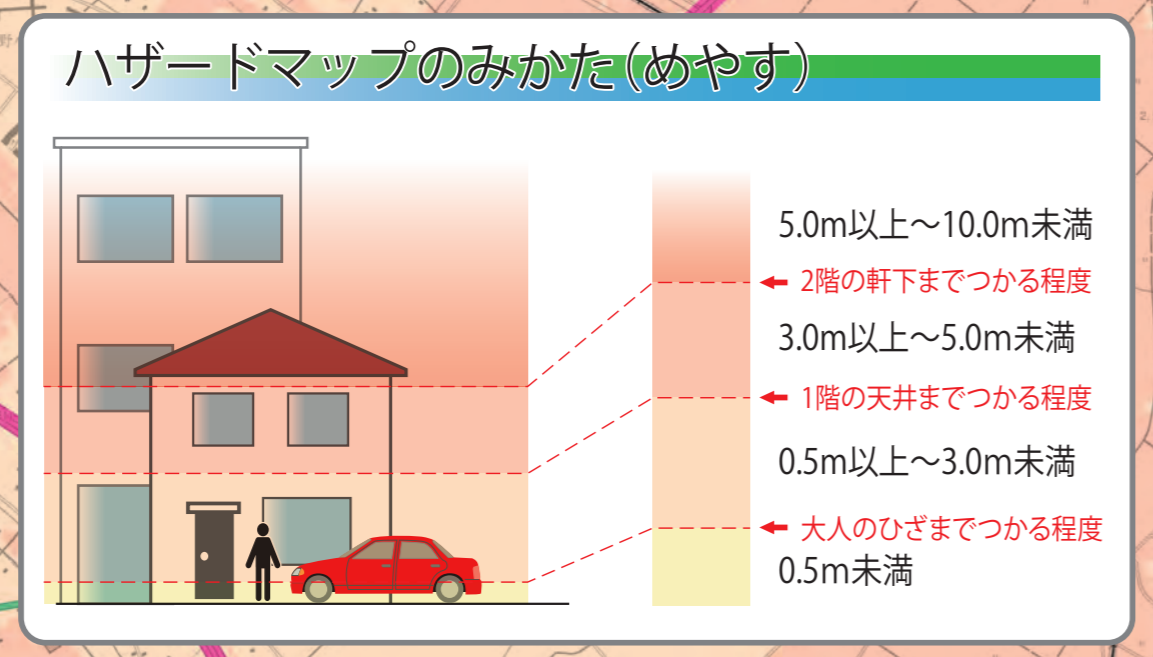
凡例

指定避難所	高速道路
要配慮者施設	国道
ひたちなか市エリア	県道
土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)	浸水域内の主要道路
土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)	鉄道 (JR)
アンダーパス	鉄道 (私鉄)
水位観測所	

要配慮者施設一覧

番号	施設名	種別	住所
1	ひたちなか市立平磯小学校	公立学校(小)	平磯町250
2	平磯小学校児童クラブ	放課後児童クラブ	平磯町250
3	茨城県立那珂湊高等学校	公立学校(高)	山ノ上町4-6
4	堀川保育園	保育園	八幡町5-14
5	グループホーム はまぎく	グループホーム	柳沢2832-1
6	グループホーム はまぎく	グループホーム	部田野3706-1
7	野沢歯科医院	歯科診療所	幸町116-10
8	梅原歯科医院	歯科診療所	相金34-15
9	かなざわ歯科クリニック	歯科診療所	田中後7512
10	那珂湊児童館	児童厚生施設	海門町1-6-9
11	夕なぎの空	障害者通所施設	田中後45-8
12	ハートケアセンターひたちなか	障害者通所施設	柳沢2831
13	地域活動支援センター「ふわり」	地域活動支援センター	柳沢2831
14	湊整形外科・内科通所リハビリテーション事業所ラメール	通所リハビリテーション	釈迦町15-9
15	介護老人保健施設 みなと苑	介護老人保健施設	幸町16-1
16	デイサービス ひめの	地域密着型通所介護	釈迦町17-19
17	アリア美波音	有料老人ホーム	釈迦町13-8
18	(医社) 克仁会妻小森クリニック	診療所	幸町116-1
19	遊徳医院	診療所	釈迦町1-34
20	(医社) 亘洋会 湊整形外科・内科	診療所	釈迦町15-9
21	宇津見眼科医院	診療所	田中後22-1
22	飯島医院	診療所	湊中央1-11-18
23	黒瀬内科医院	診療所	湊中央1-11-18

番号は西部版と共通になります。



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、国測院発行の2万5千分の1地形図を使用しました。(承認番号 令和元年度 第415-GISMAP42942号)

情報はどこから収集するの？

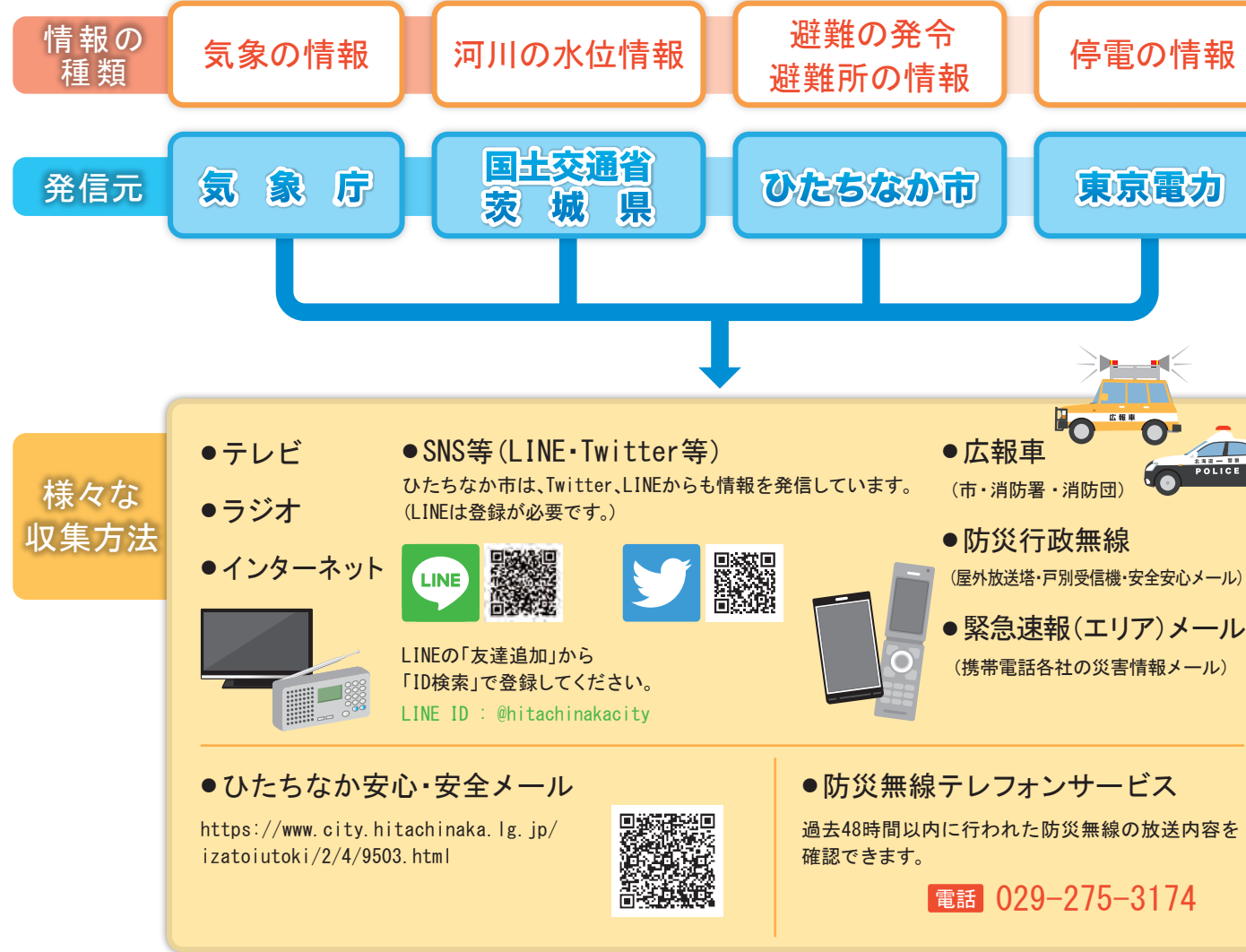
災害時に正しい情報を入力して、冷静に判断して行動することは、被害を少なくし、「逃げ遅れ」にならないために必要なことです。情報は届くのを待つのではなく、積極的に収集しましょう。

気象情報や河川に関する情報

- ひたちなか安心・安全メール**
防災行政無線の内容(防災情報を含む)などすべての放送内容のほか、防災情報を配信します。ケータイからも登録できます。
<https://www.city.hitachinaka.lg.jp/izatotokui/2/4/9503.html>
- 水戸地方気象台の情報**
降雨予測や気象情報等を提供しています。
<https://www.jma-net.go.jp/mito/>
- 茨城県土木部 雨量・河川水位情報**
茨城県が設置する水位計の水位情報が確認できます。那珂川の支流で県が管理する河川の水位はこちらをご覧ください。
<http://www.kasen.pref.ibaraki.jp/sv/index.html>
- 川の防災情報** 水位の変化を確認したい方へ
沿川のポイント毎の雨量や水位の変化を確認することができます。ひたちなか市は水府橋標準水位観測所の水位情報をご覧ください。
<http://www.river.go.jp/portal/#83>
- 川の水位情報** 水位の変化を確認したい方へ
通常の水位計の水位情報に加え、危機管理型水位計の水位情報や河川カメラの画像が確認できます。身近な河川の状況を、簡単に、きめ細かく、リアルタイムで確認できるようになります。
<https://k.river.go.jp/>
- 那珂川のライブカメラ映像 (HP)** 川のの様子を画像で見たい方へ
那珂川の様子を自宅や職場のパソコンで見ることができます。ひたちなか市では、「新那珂川大橋1・2」に設置している河川カメラの映像を配信しています。
https://www.ktr.mlit.go.jp/hitachi/bousai2/pub/R60100/t10/R60100_t10_001.html

- 防災アプリ** スマホで情報を確認したい方へ
茨城県では、ヤフー株式会社と連携を図り、「Yahoo!防災速報」を活用した災害関連情報の提供をしています。
- NHK総合テレビデータ放送** 水位の変化を確認したい方へ
地上デジタル放送(データ放送)では、気象情報や河川水位情報がわかりやすく、リアルタイムに確認できます。
- テレフォンサービス**
常陸河川国道事務所テレフォンサービス(24時間対応)、雨量・水位情報を確認できます。
電話 029-240-4102

情報の種類と収集方法



日頃の準備と避難するときの注意点

●日頃から持ち出し品や緊急の連絡手段を確認し、災害に備えておきましょう。

非常持ち出しリスト (災害発生時に最初に持ち出すもの)

非常持ち出し品は、家族分の必要最小限のものを用意し、すぐに取り出せる場所に置きましょう。荷物を増やすぎると、スムーズに避難できなくなりますので注意しましょう。

必要なものを書き込み、チェックしてみましょう!

- 救急医薬・衛生用品**
 - 口絆創膏・消毒液
 - 口包帯・ガーゼ・脱脂綿
 - 口マスク
 - 口常備薬(風邪薬・傷薬など)
 - 口持病薬(おくすり手帳や薬のメモ)
- 非常食・飲料水**
 - 口飲料水(500mlペットボトル2本)
 - 口乾パン・缶詰など
 - 口ゼリー飲料や栄養補助食品
 - 口液体ミルク・ベビーフードなど
- 情報収集用品**
 - 口携帯ラジオ
 - 口乾電池(予備電池)
 - 口筆記用具(日光や雨に強いもの)
 - 口スマートフォンや携帯電話の充電器
- 避難用品**
 - 口懐中電灯など
 - 口ヘルメット・防災ずきん
 - 口ホイッスル
 - 口手袋・軍手
 - 口ハザードマップ・地図
- 衣料品・防寒用品・日用品**
 - 口雨具(レインコート・ポンチョ)
 - 口保温シート・防寒具
 - 口使い捨てカイロ
 - 口洗面用具
 - 口紙おむつ(こども・大人)・着替え
- 貴重品**
 - 口現金
 - 口預金通帳・印鑑
 - 口健康保険証(コピーでも可)

避難時は両手が使えるリュックサックが便利!!

災害時伝言ダイヤル 171

災害時は携帯電話などの電波が通じにくくなる場合があります。家族に無事を知らせる災害時伝言ダイヤルを活用しましょう。下記の体験利用提供日を活用して使い方を確認してみましょう。

伝言の録音方法

1 7 1 (0 2 9) x x x x x x x x

伝言の再生方法

1 7 1 (0 2 9) x x x x x x x x

体験利用提供日

- 毎月1日、15日 00:00~24:00
- 防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)
- 正月三日(1月1日00:00~1月3日24:00)
- 防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

携帯電話会社による災害用伝言版

震度6弱以上の地震など、大きな災害が発生した時に、被災地域にお住まいまたはご滞在中の方が、携帯電話やスマートフォンから自身の状況や登録した伝言版を確認できる災害時専用のサービスです。

- NTTドコモ → <http://dengon.docomo.ne.jp/>
- au → <http://dengon.ezweb.ne.jp/>
- ソフトバンク → <http://dengon.softbank.ne.jp/>

避難するときの注意点

- 1 避難するときは**
動きやすい服装で、なるべく集団での避難を心がけましょう。
- 2 はき物**
素足、長靴は禁物です。ひもで締められる運動靴を履きましょう。
※長靴は水が入ると重くなるため歩行の障害となります。
- 3 高齢者などの避難に協力を**
高齢者や子供、病人、障害のある人などの避難に協力しましょう。
- 4 車での避難は危険**
車での避難は緊急車両の通行の妨げになるだけでなく、渋滞や浸水して動けなくなる場合もありますので特別な場合を除いて徒歩で避難しましょう。

5 もしも逃げ遅れたら

救助を待つ、建物の高いところへ避難してください。

↑ 垂直避難!!

早めの避難を心がけましょう

浸水してからの避難は危険です。雨や河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難勧告等を待たずに自主的に避難を開始してください。

ご近所に声をかけましょう

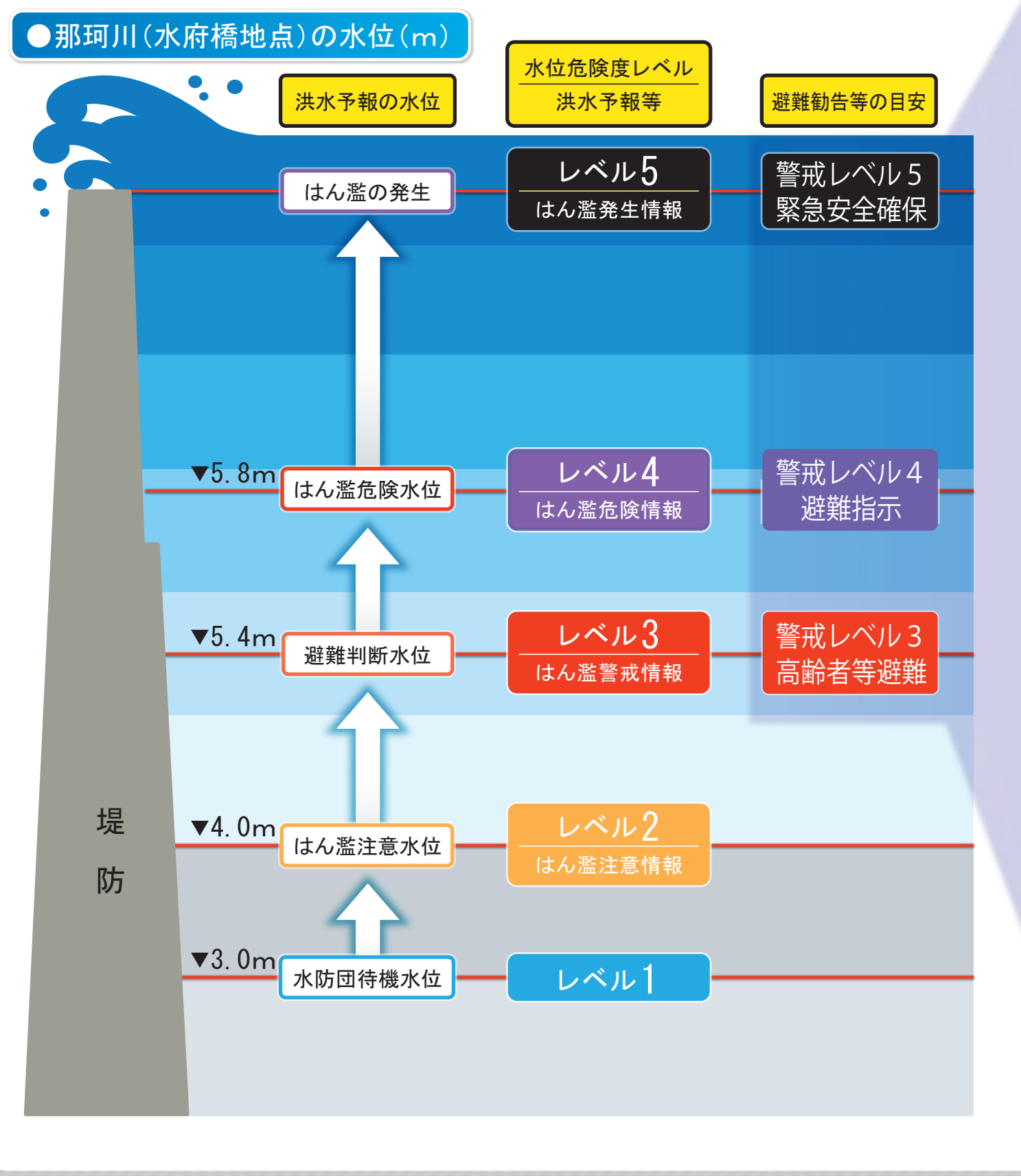
単独での避難は思わぬ事態に合ったときに危険です。避難する前に隣近所に声をかけ、集団での避難を心がけましょう。

避難所では互いの気遣いが大切

避難所では、多くの方が一定期間滞在します。他人に不快を感じさせないように、お互いの気遣いが大切です。避難所では、他人任せにせず、自分でできる範囲で運営に協力しましょう。

水位の高さによって呼びかける避難情報が変わりました。

災害対策基本法の一部改正(令和3年5月20日施行)により避難勧告・避難指示が一本化され、**避難指示により全員避難となりました(避難勧告は廃止)**。下記により最新の情報をご確認ください。



警戒レベル5 緊急安全確保

●既に安全な避難ができず命が危険な状況です。
●命を守るための最善の行動をとります。

緊急安全確保の発令を待たず、早めに避難してください。

警戒レベル4 避難指示(全員避難)

●速やかに避難先へ避難しましょう。
●公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。

避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。(避難勧告は廃止になりました。)

警戒レベル3 高齢者等避難

●避難に時間を要する人(お年寄りの方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難を開始しましょう。
●高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせめたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

●次に該当する方は、避難を開始してください。

- ・お年寄りの方
- ・体の不自由な方
- ・小さな子供がいる方
- ・避難に時間がかかる方
- ・避難を支援する方

●洪水予報の危険度レベル

洪水予報とは、国土交通省と気象庁が共同で発表する洪水予報の危険度レベルです。下の図のとおり5段階で危険度を表しています。

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル5 はん蓋発生情報	はん蓋の発生以降	はん蓋水への警戒を求める段階
レベル4 はん蓋危険情報	はん蓋危険水位からはん蓋発生まで	いつはん蓋してもおかしくない状態避難等のはん蓋発生に対する対応を求める段階
レベル3 はん蓋警戒情報	避難判断水位からはん蓋危険水位まで	避難準備などのはん蓋発生に対する警戒を求める段階
レベル2 はん蓋注意情報	はん蓋注意水位から避難判断水位まで	はん蓋の発生に対する注意を求める段階
レベル1	水防団待機水位からはん蓋注意水位まで	水防団が態勢を整える段階

●河川水位基準

水府橋地点水位が危険になると予想されるときの那珂川上流(小口、野口地点)の水位と水府橋到着時間の目安。

観測所	はん蓋注意水位	避難判断水位	はん蓋危険水位	ピーク発生からの到達時間
小口水位観測所	※ 5.0m	※ 5.0m	※ 5.5m	ピーク発生
野口水位観測所	※ 3.5m	※ 4.1m	※ 4.5m	約4時間後
水府橋水位観測所	※ 4.0m	※ 5.4m	※ 5.8m	約4時間後

※水位基準については、令和2年4月時点のものです。

注意報・警報・特別警報

注意報・警報・特別警報が出たときは、下記の表を参考に避難行動をとってください。

警報等の種類	説明
大雨	特別警報: 大雨により重大な災害が起こる恐れが著しく大きいと予想される場合に発表する警報。
	警報: 大雨により重大な災害が起こる恐れがあると予想される場合に発表する警報。
	注意報: 大雨により災害が起こる恐れがあると予想される場合に発表する警報。
洪水	警報: 洪水により重大な災害の起こる恐れがあると予想される場合に発表する警報。
	注意報: 洪水により災害が起こる恐れがあると予想される場合に発表する警報。
土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時に、市長が避難勧告等を発令する際の判断や、住民の自主避難の参考となるよう気象庁と県が共同で出す防災情報。
記録的短時間大雨情報	大雨警報が発表されているときに、数日に1回程度発生する激しい短時間の大雨を観測、または解析されたことを発表する情報。

マイ・タイムラインとは?

マイ・タイムラインとは?
「マイ・タイムライン」は、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめる行動の計画表です。急な判断が迫られる洪水発生時に、自分自身の行動のチェックリスト、また判断のサポートツールとして役立ちます。

洪水はマイ・タイムラインで想定したとおりに行うとは限りません!

- 洪水によって異なります
- 洪水に応じて臨機応変に発表・発令されます
- 洪水に応じて臨機応変に対応しましょう

マイ・タイムライン使用時の心得

- 心得1: あくまで行動の目安として認識する。
- 心得2: 気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得3: 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを作成し、「自分の逃げ方」を手に入れます。

お問合わせ先: ひたちなか市 生活安全課・河川課
TEL 029-273-0111 (代表) <http://www.city.hitachinaka.lg.jp/>